

CIGS エネルギー環境セミナー 「デジタル社会におけるサービス・イノベーション」

日 時	2018年11月26日(月) 16:00-17:30 (受付開始 15:30)
会 場	キャノングローバル戦略研究所 会議室3 (東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階)
講 師	原 良憲 (京都大学 経営管理大学院 院長・教授)
モデレーター	芳川 恒志 (キャノングローバル戦略研究所 研究主幹)
言 語	日本語

講演概要

2015年COP21において合意された「パリ協定」でも謳われているとおり、地球温暖化は人類全体の課題であり、この地球温暖化問題に対応していくためには更なるイノベーションが不可欠である。実際、エネルギー分野においても再生可能エネルギーの急速なコスト削減やデジタル技術のエネルギー分野、とりわけ電力分野での応用が進みつつある。当研究所においても、従来、エネルギー政策と地球温暖化対策がさらに一体化されるとともに、この分野でイノベーションが生じ、あるいはイノベーションの成果がさらに活用されるための方策等について研究してきたところである。

イノベーションはともすれば研究開発分野、いわばイノベーションプロセスの川上の進歩が重視されがちであるが、研究開発や技術発展の成果の適用や応用も同様に重要であることは論をまたない。経済のサービス化や製造業に関してもいわゆる「スマイルカーブ」をめぐる議論に見られるとおり、サービス分野におけるイノベーションの役割も過小評価すべきではない。21世紀のデジタル社会において、製造業におけるコモディティ化の回避だけでなく、エネルギー産業を含むサービス業における低生産性の改善をはかることも重要な課題である。

今回のセミナーでは、クールジャパンなどを含む日本のクリエイティブ・サービスの特性を踏まえたサービス・イノベーションの現状にも言及しつつ、特にイノベーションプロセスの川下におけるイノベーションについてサービス産業を例に解説する。また、先述のとおり、デジタル化はエネルギー分野においても将来影響力の大きい要素となる。一方で、サービス産業においては、既にデジタル化の流れが現実のものとなっている。デジタル化に焦点を当てながらサービス・イノベーションの現状や展望の理解を深め、エネルギー・地球温暖化対策分野におけるイノベーションへの示唆やヒントを得ることを目指している。

プログラム

16:00-16:05	趣旨説明 芳川 恒志 (キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹)
16:05-16:45	講 演 「デジタル社会におけるサービス・イノベーション」 原 良憲 (京都大学 経営管理大学院 院長・教授)
16:45-17:30	質疑応答と討論 モデレーター：芳川 恒志

講師紹介

1981年東京大学工学部電子工学科卒業、1983年同大学院工学系研究科(修士課程)修了。2005年京都大学博士(情報学)。1983年日本電気株式会社入社以来、日米の研究拠点にて、Web・メディア情報管理などの研究・事業開発に従事。2006年 京都大学経営管理大学院 教授、2018年4月より京都大学経営管理大学院 院長。サービス学会副会長、京都市ベンチャー企業 目利き委員会 審査委員、京都市「これからの1000年を紡ぐ企業認定」審査委員長などを務める。

著書に『日本型クリエイティブ・サービスの時代 – 「おもてなし」への科学的接近』(共著) 日本評論社 (2014年) など。